

であり、図書を各市町村へ一括大量に貸出し、地域図書館、公民館（図書室）活動の活性化を図るものである。

本年度の利用状況は次のとおりである。

図書館	須賀川市	1,000冊	喜多方市	480冊
	岩瀬村	3,000冊	相馬市	2,588冊
	白河市	1,982冊	原町市	2,000冊
	棚倉町	2,000冊		

公民館	国見町	299冊	矢吹町	2,000冊
	霊山町	1,000冊	泉崎村	2,000冊
	月館町	600冊	東村	2,000冊
	安達町	499冊	表郷村	300冊
	大玉村	1,000冊	塙町	2,000冊
	本宮町	2,000冊	矢祭町	1,000冊
	白沢村	500冊	山都町	600冊
	東和町	800冊	河東町	940冊
	鏡石町	800冊	本郷町	1,000冊
	三春町	800冊	会津高田町	500冊
	石川町	500冊	金山町	800冊
	浅川町	1,000冊	田島町	1,000冊
	西郷村	1,000冊	小高町	600冊

その他	福島刑務所	1,000冊		
計	33市町村	39,588冊		

## 4 読書会用文庫

公民館やPTA活動の一環として、地域文庫・家庭文庫運営のための学習として、あるいは生涯学習時代を迎え同好の志が集まったのサークル活動として、近年県内各地で読書会が誕生している。そして、それらの人たちが県立図書館に読書会のノウハウを求めて来る。県立図書館では、それらの読書会のためにテキストを揃え、読書会運営のための相談に応じている。テキストは絵本から一般成人向まで、1タイトル5冊～10冊まで、幅広く揃えている。

昭和61年度の登録団体数は18団体であるが、他に単発的に読書会をする団体の利用も10件程あった。貸出冊数は1,700冊。

## 5 普及事業

### (1) 第34回福島県図書館大会

- 期 日 昭和61年10月7～8日
- 会 場 喜多方プラザ文化センター
- 参 加 者 公共図書館・公民館・社会教育関係職員、図書館協議会・公民館運営審議会委員、図書館利用者、各種文庫関係者、読書グループの会員 140名
- 講 演 市民が望む図書館のあり方  
日本図書館協会出版委員 関 千枝子
- 意見発表 ① 相互貸借による図書館間協力について  
郡山市図書館司書 佐藤三起子
- ② 公民館図書室の読書活動について  
東村中央公民館主査 芳賀 斐子
- ③ 私たちの読書グループ活動について

喜多方市慶徳町新宮読書会代表者

佐藤 哲

### • 意見交換

- 司会者 会津若松市立会津図書館長 門脇 平八
- 助言者 日本図書館協会出版委員 関 千枝子
- 二本松市立図書館長 菅野 嘉久
- 福島県立図書館資料課長 菅野 孝吉

### (2) 北日本図書館連盟奉仕部門（参考事務）研究協議会

- 研究テーマ 二次資料作成・活用の課題と展望
- 期 日 昭和61年10月22～23日
- 会 場 県立図書館
- 参 加 者 北日本地区公共図書館、公民館図書室、その他関係職員 60名
- 講 演 公共図書館における書誌サービスの最近の動向  
図書館情報大学助手 薬袋 秀樹
- 事例発表 ① 山形県立図書館における補助ツールの作成の課題と展望  
山形県立図書館調査相談係長 齋藤 洋一
- ② 郷土的なレファレンスの回答事例集について  
仙台市民図書館嘱託 種部 金蔵
- ③ 郷土文献目録の作成について  
会津若松市立会津図書館司書 野口 信一

### • 研究協議 二次資料作成・活用の課題と展望

### (3) 読書活動指導者養成講座

(一般コース)

- テーマ 絵本のルーツをさぐる旅
- 期 日 昭和61年7月17日
- 会 場 県立図書館
- 参 加 者 公共図書館・公民館職員、社会教育関係者、文庫世話人、一般 170名
- 講 師 法政大学教授 アン・ヘリング
- 講 義 ① 桃太郎絵本あれこれ  
② 絵本とその仲間たち

(専門コース)

- テーマ 手作り紙芝居に愛をこめて  
— 楽しさは、まず大人から —
- 期 日 昭和61年11月26・27日
- 会 場 郡山市婦人会館
- 参 加 者 公共図書館・公民館・幼稚園・保育園職員、社会教育関係者、学生ほか 160名
- 講 師 絵本作家 松井 紀子
- 講 義 ① 絵本と紙芝居の魅力と独自性  
② 紙芝居の独自性を深める
- 実 習 ① 紙芝居を作ろう！  
② 紙芝居を演じる！

### (4) 子どもの本研究講習会

- 期 日 昭和61年9月20日
- 会 場 県立図書館
- 参 加 者 公共図書館・公民館・社会教育関係職員、